

## 第35回教育研究評議会議事録

I 日時 平成18年11月16日(木) 14時00分～14時40分

II 会場 5階大会議室

III 出席者 議長 岩崎学長  
評議員 工藤、瀧田、泉、腰塚、吉武、谷川、高橋、波多野、江口、水林、  
井上、高松、中山(伸)、山田、林、野村、西川、石井、植松、板野、  
太田、岡本、辻中、長澤、深水、守屋、KAISER  
代理出席 赤座英之、北脇信彦、大塚藤男、矢花一浩

IV 配付資料

第34回教育研究評議会議事録(案) -----[審議資料1]  
国立大学法人筑波大学学群学則(抜粋) -----[審議資料2]  
筑波大学ファカルティ・ディベロップメント委員会について -----[審議資料3]  
財務会計システムについて -----[報告資料1]  
施設環境整備費の執行について -----[報告資料2]  
第2回コンプライアンス・シンポジウム『その情報、Webに載せて大丈夫?』  
ー著作権法違反・個人情報保護法違反とならないためにー -----[報告資料3]  
第13回国立大学法人筑波大学経営協議会議事次第 -----[報告資料4]  
学生の懲戒について(報告) -----[回収資料]  
冬の省エネルギー・キャンペーンの実施について -----[追加資料]  
筑波大学安全キャンペーン週間の実施 -----[席上配付資料]

V 議事

[審議]

1 第34回教育研究評議会議事録の確認について

第34回教育研究評議会議事録(案)は原案どおり了承された。

2 学生の懲戒について

岩崎学長から、審議資料2に基づき、学群学生の懲戒を行う場合は、国立大学法人筑波大学学群学則に基づき、教育研究評議会の議を経ることとなっている旨及び医学専門学群から懲戒の発議のあった事案について、同学則第60条第3項に基づき設置した調査委員会から調査報告書が提出された旨説明があった。

引き続き、調査委員会委員長である高橋副学長から、回収資料に基づき、同委員会の審議結果について説明があり、審議の結果、原案どおり「訓告」とすることが承認された。

3 筑波大学ファカルティ・ディベロップメント委員会について

工藤理事から、審議資料3に基づき、同委員会設置の背景、設置形態及び運営方法について説明があり、同委員会の設置が原案どおり承認された。

〔報告〕

1 財務会計システムについて

泉理事から、報告資料1に基づき、平成18年10月5日に新しい財務会計システムを契約し、平成19年4月1日の稼動開始に向け諸準備を進めている旨報告があった。

2 施設環境整備費の執行について

泉理事から、報告資料2に基づき、同経費の本年度の執行予定について報告があった。

3 第2回コンプライアンス・シンポジウムについて

吉武理事から、報告資料3に基づき、同シンポジウム開催の趣旨及び概要について報告があり、各評議員に対し、教職員及び学生への参加要請があった。

関連して、板野学術情報メディアセンター長から、著作権法問題をクリアするための一方策として、同センターで導入しているWebCTシステムを積極的に利用してほしい旨の発言があった。

4 第13回経営協議会について

吉武理事から、報告資料4に基づき、同会議の概要について報告があった。

なお、同会議を、本学の運営に関して、大所高所からこれまで以上に議論をする場としていきたい旨の付言があった。

5 冬の省エネルギー・キャンペーンの実施について

泉理事から、追加資料に基づき、同キャンペーンの概要について報告があり、教職員への協力要請があった。

また、チェックシートを作成し、実施状況の確認を月に1、2度行うことで、キャンペーンの徹底を図ることとしたい旨付言があった。

6 筑波大学安全キャンペーン週間の実施について

守屋学生生活支援室長から、席上配付資料に基づき、同キャンペーンの趣旨及び概要について報告があり、教職員への協力要請があった。

7 学群・学類改組に伴う建物名称について

太田基礎医学系長から、第34回教育研究評議会において報告された改組後の建物名称について、特に医学系においては、エリアと学群との整合性及び現在の名称等を総合的に勘案しながら部局で検討する時間が必要であるとの意見が部局内から出された旨の報告があり、施設部において、あらためて医学系と調整することとなった。

8 その他

工藤理事から、総人件費改革への対応に関して、次回開催日前に日程を調整のうえ、臨時の本会議を開催する予定である旨報告があった。

次回日程 12月14日(木) 14:00～ 5階大会議室

以上